

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公開番号】特開 2017-18094 (P2017-18094A)

【公開日】平成 29 年 1 月 26 日 (2017.1.26)

【年通号数】公開・登録公報 2017-004

【出願番号】特願 2016-132893 (P2016-132893)

【国際特許分類】

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 13/22 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 R 1/185 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/21 Z N A

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 13/22 A

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 1/21

C 1 2 R 1:185

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 21 日 (2017.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

野生型エシェリキア属微生物の L - トリプトファンの産生能と比較して L - トリプトファンの産生能が強化された組換えエシェリキア属微生物であって、
該組換えエシェリキア属微生物は染色体のトリプトファンオペロンにおいて配列番号 1 に示される塩基配列を含む発現調節部位のうち配列番号 2 に示される塩基配列の全体又は一部が欠損するように変形されたものであり、
該組換えエシェリキア属微生物は野生型エシェリキア属微生物と比較してトリプトファンオペロン遺伝子の発現を増大させるためにトリプトファンオペロンの遺伝子である t r p D、t r p C、t r p B、及び t r p A が形質転換されたものであり、及び
該組換えエシェリキア属微生物は野生型エシェリキア属微生物と比較して t r p E 遺伝子の発現が増大されていないものであるか若しくは t r p E 遺伝子によってコードされるアントラニル酸塩合成酵素の活性が増大されていないものである、組換えエシェリキア属微生物。

【請求項 2】

組換えエシェリキア属微生物は染色体のトリプトファンオペロンにおいて、配列番号 1 の塩基配列を含む発現調節部位のうち配列番号 3 に示される塩基配列の全体又は一部が欠損するようにさらに変形されたものである、請求項 1 に記載の組換えエシェリキア属微生物。

【請求項 3】

t r p D 遺伝子が配列番号 37 に示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードし、
t r p C 遺伝子が配列番号 38 に示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードし

、 t r p B 遺伝子が配列番号 3 9 に示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードし、及び

t r p A 遺伝子が配列番号 4 0 に示されるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする、請求項 1 又は 2 に記載の組換えエシェリキア属微生物。

【請求項 4】

組換えエシェリキア属微生物が大腸菌である、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の組換えエシェリキア属微生物。

【請求項 5】

L - トリプトファン産生に適した条件下で請求項 1 に記載の組換えエシェリキア属微生物を培養する工程を含む、L - トリプトファンの産生方法。

【請求項 6】

組換えエシェリキア属微生物は、染色体のトリプトファンオペロンにおいて、配列番号 1 の塩基配列を含む発現調節部位のうち配列番号 3 に示される塩基配列の全体又は一部が欠損するようにさらに変形されたものである、請求項 5 に記載の L - トリプトファンの産生方法。

【請求項 7】

組換えエシェリキア属微生物が大腸菌である、請求項 5 又は 6 に記載の L - トリプトファンの産生方法。